

# 第6回 応用生態工学会全国 フィールドシンポジウム in 高知 高知の川と自然再生－アユをとりまく土佐の人－

主催：応用生態工学会 普及・連携委員会  
協賛：一般社団法人四国クリエイト協会  
後援：国土交通省四国地方整備局  
一般社団法人建設コンサルタンツ協会四国支部  
協力：国土交通省四国地方整備局中村河川国道事務所  
国土交通省四国地方整備局高知河川国道事務所  
実施主体：フィールドシンポジウム in 高知実行委員会

## ①フィールドツアー：6月13日（金）

- 9:00～ 高知駅発  
仁淀川・高知海岸を視察
- 13:00～ 四万十川自然再生箇所視察  
15:30 屋形船で四万十川中流部視察
- 15:30～ 四万十川中流部をまわり高知へ
- 18:30～ 懇親会

## ②シンポジウム：6月14日（土）

高知市文化プラザかるぽーと 11階  
大講義室

シンポジウム

「アユをとりまく土佐の人」

コーディネーター：河口洋一（徳島大）

■13:00～14:50 一般講演  
1)-1 四万十川の自然再生  
－アユの瀬づくり－

中村河川国道事務所

1)-2 四万十川における自然再生事業  
「アユの瀬づくり」と  
菜の花祭りの共存を考える

石川慎吾（高知大・理）

2) 天然アユを増やす取り組みの  
中から見えてくるもの

高橋勇夫（たかはし河川生物調査事務所）

3) 清流めぐり利き鮎会・  
17年の歩み

内山顕一（高知県友釣連盟代表理事）

■14:50～15:00 10分休憩

■15:00～16:30 パネルディスカッション  
（講演者、コメンテーターを交えて）

コメンテーター：竹門康弘（京大・防災研）

武藤裕則（徳島大・工）

今年の全国フィールドシンポジウムは高知で開催し、「アユ」をめぐる高知の取り組みに迫ります。高知はアユの資源価値が高く、そのため持続的な利用を目的に行政・漁協・研究者・市民（釣り人）が各々取り組んでいます。フィールドツアーでは四万十川の自然再生を訪ね、シンポジウムでは「アユをとりまく土佐の人」と題し、高知の取り組みを紹介します。来たるべき南海トラフ巨大地震を踏まえながらも、豊かな高知の自然を見つめ直し、川の自然再生や川と人の関わりについて議論したいと思います。

■参加費：フィールドツアーはバス、屋形船とお弁当で6000円程、懇親会費は5000円程を予定しています。シンポジウムは1000円（学生は無料）程を予定しています。

■参加申し込み連絡先：所属・氏名・連絡先・参加内容（フィールドツアー、シンポジウム、懇親会）を明記し、下記までEメールでお申し込みください。

フィールドシンポジウム in 高知実行委員会 川越 幸一

Eメール：kawagoe@kensetsukankyo.co.jp

申し込み締切日  
フィールドツアー：6月5日（木）  
シンポジウム：当日